小景異情

室生犀星

内容理解 次の各問いにそれぞれ答えなさい。

1 ①郷里を恋しく思う気持ちが表れている箇所を詩中からひと続きの二行で抜き出し、②これらの箇所に込められた思いを、二字熟語で答えなさい。

①

②

2 「よしや」（二八六・3）の説明として適当なものを次の中から**一つ**選んで記号で答えなさい。

ア 「そして」の意で、順接の文脈を形作っている。

イ 「しかし」の意で、逆接の文脈を形作っている。

ウ 「たとい」の意で、仮定の文脈を形作っている。

エ 「さて」の意で、話題を転換している。

3 **1**の思いとは相反するような思いも、作者は抱いている。どのような思いか。詩の内容を踏まえて説明しなさい。

4 この詩は作者の郷里、金沢での作品である。作者の複雑な思いを説明した次の文の空欄にあてはまる語句を後ろの語群からそれぞれ選びなさい（同じ語句を二度使ってもよい）。

［①　］にいれば、［②　］は懐かしく、「［③　］」という心境に浸る。しかし、いざ、帰ってみれば、「［④　］」という感情に苦しめられ、［⑤　］していたはずの［⑥　］を、［⑦　］の対象として眺めざるを得なくなる。所詮は、遠い［⑧　］にいて思慕するしかないと考えるのである。

ア 東京　イ 金沢　ウ 愛惜　エ 友好　オ 決別
カ 帰るところにあるまじや　キ ふるさとおもひ涙ぐむ

主題理解 次の問いに答えなさい。

この詩は、単純に郷里への思慕を歌ったものではない。この詩が作られた場所・時を考慮した場合、どのような決意を語っているものと考えられるか、説明しなさい。